

港川自治会平和宣言（全文）

自治会の創立70周年にあたり、今後の活動指針として「自治会平和宣言」を確認しました。

沖縄戦を間近に控えた1944年（昭和19年）行政区としての「字港川」が創設され、村長（浦添）任命の区長が配置されました。現在の自治会の前身です。あれから70年、悲惨な沖縄戦と過酷な戦後を体験した世代は激減し、一方では日本の政治が大きく変化しています。沖縄の基地負担は続き、一方的な押しつけ政治がまかり通ろうとする現在、平和を継承する後世代の活動はますます重要となっています。港川自治会は、沖縄戦遂行の一端を担わざるを得なかった創立の時代的教訓として「二度と戦争遂行に加担しない」「自主・主体的な活動づくり」を確認し、以下の通り宣言します。

宣 言

1. 港川自治会は

地域の絆を大事にし これからも平和で充実した暮らしのための活動に取り組みます

1. 港川自治会は

創立時における沖縄戦遂行の役割を反省し自主・主体的な活動を守って再び戦争遂行に加担させられることを拒否していきます

1. 港川自治会は

地域の戦争犠牲者と沖縄戦体験者の「平和への思い」を受け止め、次代に継承する役割を担っていることを確認するとともに今後も地域の子ども達の「平和学習」継続に全力を挙げて取り組みます

1. 港川自治会は

戦後70年間「戦争のない日本社会」を築いた平和憲法及びその砦とも言うべき戦争放棄の第9条を尊重し 地域から「基地のない平和な沖縄」実現を目指します

2014年11月3日